

YELL エール 第19号

那須教育事務所ふれあい学習課
〒324-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9
Tel:0287(23)2177 FAX:0287(23)2193
Mail:nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

Vol. 19 平成24年 8月

学校へ行こう！

ー 蜂巢小高齢者授業参画企画ー

夏休みに入っても、部活動の大会や研修会、個人懇談等で、忙しい毎日をお送りのことと思います。毎日、猛暑が続いていますが、みなさん夏バテはしていませんか？どうぞお体を御自愛ください。

さて、今回は大田原市立蜂巢小学校の地域との連携「学校へ行こう」について御紹介します。この「学校へ行こう」は昨年度から始まった企画で、地域に住む高齢者が学校で児童たちと一緒に授業を受けるというものです。年に3回予定されており、6月に行われた第1回の授業では、論語・英語・体育の授業が行われました。

論語の授業では、外部講師を招いて説明を聞き、みんなで声を出して論語を読みました。英語では、ALTの先生と一緒に、ゲームや会話を楽しんだ後、食文化も理解しようということで、アメリカのおやつを試食も行いました。体育では、1・2年生と一緒に、ストレッチをしたりボールゲームをしたりして、体を動かしました。

児童が高齢者にやり方を教えてあげたり、高齢者が児童に手助けしたり、とても良い雰囲気でした。

高齢者からは、「50数年ぶりに学校で勉強したけど、新鮮で感動した。」
「本気になってしまった。元気ももらった。」
「昔遊びを教えるのもいいが、一緒に何かやるというのも楽しい。」という声を聞くことができました。



高齢者を招いて「昔の遊びを教わろう」や「何かを教えてもらおう」という授業は、実施している学校も多いと思いますが、一緒に学ぼうというスタイルは新鮮ではないでしょうか。「昔遊びは、できないなあ。」なんておっしゃる高齢者の方も、年々増えている今、「一緒に学ぶ」という形は、とても参加しやすいようです。

参加の呼びかけは、教頭先生が窓口となり、自治会長に学校便りの回覧をお願いして、事前に参加する授業の希望等を取っているそうです。孫の在籍に関わらず積極的に参加してくれる方が多く、毎回この授業を楽しみにしているそうです。

地域の方に学校へ来ていただき、学校の様子を知ってもらい、地域とのつながりを強める。このつながりを強めることにより、地域の協力を得やすくなるのではないのでしょうか。ちょっと視点を変えると、地域の方は学校への距離がぐっと近くなるようです。

社会教育主事の紹介

氏名：畠山 正敏 先生
勤務先：なす高原自然の家
職名：副主幹

メッセージ：4月から、なす高原自然の家に勤務しております。

4月初旬には何度か雪が降り積もり、真冬の通勤に不安を感じましたが、現在は仕事にも少しずつ慣れ、那須の自然を楽しんでいます。まだまだ戸惑うことも多いですが、利用する団体の方が充実した活動ができるように頑張っていきたいと思っております。皆様の御利用をお待ちしております。



1・2年：論語（姿勢を正して、論語を読む）